

平成 28 年度の事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人とみおか子ども未来ネットワーク

1 事業実施の方針

- ・交流会事業、学習支援事業、集いプログラム事業を実施。
- ・広報活動の充実を図る。
- ・会員間の連携強化と会員拡充及び他団体の連携強化を図る。
- ・次世代向けの事業展開を目指す。
- ・アーカイブ事業を実施。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
タウンミ ーティン グ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方、関東圏、東北地方にて、今まで開催していない都道府県にて、避難している富岡町民を対象に開催する。 ・理事及び事務局を中心として会員と参加者間の交流を図り、様々な意見交換会を行う。 ・実施にあたり、開催地の支援団体との連携を図る。 ・参加者の声を大切にして、情報誌や SNS などを用いて広く参加を促す。 ・アーカイブ事業との連携を図り、専門家の協力も得ながら、参加者の思いや状況を取りまとめる。 	(A) 4 回 (B) 福岡県・宮城県・茨城県・東京都 (C) 12 人程度	(D) 開催地に避難をしている富岡町民とその近隣に避難をしている富岡町民 (E) 60 人	1,087
公開討論 会実施事 業	開催なし	(A) なし (B) - (C) -	(D) (E)	0
交流会事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的避難者が多い関東圏を中心に他団体が開催するサロンに参加し、富岡町民との接点を持つ。 ・各事業で知りえた情報をもとに、各地の交流会へ参加する。 	(A) 月 1 回程度 (B) 全国 (C) 24 人	(D) 全国の支援団体 (E) 50 人	300
学習支援 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞き書き」を用いて、全国に避難している高校生、大学生を対象に、高齢者世代の協力を得て富岡住民同士「富岡町の暮らし」について地域を学ぶ。 ・郷土文化の継承事業の推進 	(A) 3 回程度 (B) 東京都内及び福島県内など (C) 30 人	(D) 全国に避難をしている、高校生、大学生及び高齢者層 (E) 延べ 10 人	3,500
子育て相 談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代を対象とした「お料理教室」を実施する。 ・協力企業の支援を受け、郡山市内で行う。 	(A) 6 月、9 月 (B) 郡山市内 (C) 6 人	(D) 郡山市内及び近郊に避難をしている富岡住民 (E) 20 人	90

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
支援者グループとの勉強会	<ul style="list-style-type: none"> 各地の支援者団体や専門家と連携を図る為、勉強会や研修などへ参加する。 タウンミーティング事業開催をきっかけとして開催地の支援団体との交流を図り、連携を強化する。 	(A)月1回程度 (B)関東圏及び福島県内 (3)36人	(D) 会員 (E) 36人	200
セミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> 会員を対象にした原発避難に対する勉強会を実施。 会員の要望で開催内容は決定する。 オープンな場を設けて、原発避難者の実情を共有する事業を行う。 	(A)2回 (B)東京都、福島県など (C)6人	(D) 会員 (E) 24人	200
集いプログラム事業	1) <ul style="list-style-type: none"> 武蔵野市の市民団体と協力して、全国に避難している子供のいる世帯を中心に実施する。 合宿先は長野県川上村において、協力者である武蔵野市の施設を借用する。 2) <ul style="list-style-type: none"> 若者世代のつながりの場作りとして、関東圏に避難をしている10代、20代の町民を対象に行う。 	(A) 1) 8月 2) 6月、10月、3月 (B) 1) 長野県 2) 東京都 (C) 1) 15人 2) 10人	(D) 1) 全国に避難をし、中学生以下の子供がいる世帯 2) 関東圏にいる若者世代 (E) 1) 40人 2) 60人	110
アーカイブ事業	1) <ul style="list-style-type: none"> 事業を通じて得たつながりを元に原発災害によって避難した経緯を私歴として、被災当事者から避難の状況を聞き取り、データ化し参加者に返す事で、震災の記録作りの支援を行う。 2) <ul style="list-style-type: none"> 団体活動も5年となるタイミングで、今までの活動をまとめた報告記録の冊子の作成を行う。 	(A) 1) 毎月 2) 2月 (B) 1) 全国各地 2) - (C) 1) 36人 2) 6人	(D) 1) 原発災害の避難者 2) 富岡及び並びに連携関係者、一般 (E) 1) 34人 2) 1000人	3,910
イベント事業	1) <ul style="list-style-type: none"> 団体発足から5年となる為、設立記念イベントを開催する。 以前に実施したシンポジウムの内容を広く伝えるための公開イベントを開催する。 2) <ul style="list-style-type: none"> 支援団体として、関東圏の支援団体と協力して避難者の実情を伝えるためのイベントを実施する。 	(A) 1) 8月、2月 2) 9月 (B) 1) 東京都 2) 東京都 (C) 1) 20人 2) 10人	(D) 1) 避難当事者及び支援関係者、一般 2) 避難当事者及び支援関係者、一般 (C) 1) 200人 2) 100人	100
情報発信事業	1) 団体情報誌「とみログ」を発行し、富岡町民世帯へ配布すると共に、連携団体や一般の方へ配布する。 2) 現行のHPをリニューアルする。 3) WebやSNSを用いて事業の告知や報告を行う。 4) 関東甲信地域を中心としたイベント情報の収集し、連携団体と共働して避難者に情報提供を行う。	(A) 1) 4回発行 2) 7月 3) 毎日更新 4) 毎月5日間 (B) 1) 全国 2) Web上 3) Web上 4) 関東圏及び山梨県、長野県 (C) 1) 16人 2) 2人 3) 36人 4) 15人	(D) 1) 避難している富岡町民世帯及び関連団体、一般 2) 不特定多数 3) 不特定多数 4) 不特定多数 (E) 1) 8000人 2) 不特定多数 3) 不特定多数 4) 不特定多数	2,000